

川崎重工グループ税務方針

川崎重工の事業活動のグローバル化に伴う、各国税務当局からの指摘や税務訴訟などの税務リスクに対応するため、グループ全体での適切な税務ガバナンスの構築が必要となっています。川崎重工は事業のグローバル化に対応した税務リスク管理を実施し、以下の事項をグループ内に周知・浸透させていきます。

1. コンプライアンス

川崎重工グループは、各国の税法を遵守し、かつ国際機関等が公表している基準（OECD 移転価格ガイドライン、BEPS 行動計画）等に準拠し、事業活動を行います。また、川崎重工グループは、各国の税務当局と誠実で良好な協力関係を構築し、適切な納税に努めます。

2. リスクマネジメント

川崎重工グループは、企業価値最大化のために、税務リスクの極小化を目指します。特に、同一の経済的利益に対して複数の国に課税される二重課税を回避すべく税務リスクの管理を行います。

3. タックスプランニング

川崎重工グループは、タックスプランニングにあたり、事業目的と実態を伴わない取引は行いません。一方で、各国税法の趣旨を十分に踏まえ、立法趣旨に沿った税制の活用を目指します。

以 上